

1 次のお話を読みましょう。

十一月は日本では霜月しもつきと呼ばれ、霜よが降りる月という名前が付いています。この季節は、朝と夜の気温差が大きく、木々の葉もきれいに色づく紅葉こうようの季節です。日本では、紅葉をケンブツ①することを、紅葉狩りもみじがと言います。紅葉狩りの狩りかというのは、草花を眺めるながという意味があります。平安時代には、紅葉した木の枝を折り手の平へいにのせて鑑賞かんしょうするブンカ②がありました。現代げんだいでは木の枝を折り持ち帰ることは禁止きんされています。

紅葉の名所は、日本各地かくちにたくさんありますが、群馬県では谷川岳たにがわだけの紅葉やわたらせ渓谷鉄道けいこくの紅葉、赤城山あかぎさんの紅葉③がユウメイです。特に、わたらせ渓谷鉄道の紅葉は渡良瀬渓谷わたらせせけいこくを走るトロッコ列車からの眺めながめが美しいと言われています。トロッコ列車は、一部分が外ふと触ふれていて窓まどにガラスが無く、スピードなが出せない列車です。そのため外の景色けしきをゆつくり楽しむことが出来ます。

2 次の問題に答えましょう。

1. 線①～③を漢字で書きなさい。

【 ① 】 【 ② 】 【 ③ 】

2. 霜が降りるほど寒い十一月は、日本では何と呼ばれていますか。

【 】

3. 紅葉狩りの「狩り」というのは、どのような意味ですか。

【 】 という意味。

4. 線④とありますがなぜですか。理由が書かれている文章の初めの5文字を書きましよう。

--	--	--	--	--

